

## 施餓鬼法要のぐ案内

森羅万象 山川草木 悉皆成仏 一切衆生 悉有仏性 あらゆる生命、生きとし生けるものの全ての生命に感謝の念をささげ 安心と成仏を願い 施餓鬼の供養を行い 合わせて 自分を振り返り 真摯に自己反省をする きっかけめで功德の大きい行事です。

しばらくいたしますと、ご先祖さまの精霊をお迎えし、供養する厳肅な時がやって参ります。お盆は、両親を始めご先祖さまへの孝養心に気づき、お施餓鬼は、自分のご先祖様方だけでなく、分け隔てないおらかな広い心で、全ての精霊に供養する、慈悲のまごころを思い起こさせる行事なのです。お盆の最高のご供養は、親や先祖に今の自分の生きざまや、ありようを見ているだけことです。また、今の自分が亡き方々の願いにかなっているか、見つめ直すことがお盆の意義です。

これを受け、当山では、檀信徒の皆様方に、感謝と気づき、そして、安心のひとときとして、施餓鬼法要を左記の内容にて執り行います。コロナ感染症対策のため、先祖供養・ご法事等の法要を行えないまま時が過ぎる日々、都合のつく時間帯でお参り頂き、ご焼香下さい。

令和四年七月吉日

普門院

檀信徒の皆様へ

記

期 日 令和四年八月十七日(水)

午前の部 午前十時～十一時  
午後の部 午後一時～二時

会 場 普門院 持仏堂